



# 産科だより

令和4年

## ◆赤ちゃんの聴覚検査について

当院では、新生児の聴覚検査を実施しています。OAE（オーエーイー）という方法で実施している、刺激音を聞かせ、これに反応して返ってきた音が認められるかどうかを判定するものです。聴覚障害は早い時期に適切なケアを行うことで、コミュニケーションや言語発達に大きな効果が得られます。

この検査は聴覚障害があるかどうかを判断するための検査ではなく、今後精密検査を受ける必要があるかどうかを判断する検査になります。「要再検」と結果がでたとしても、新生児の場合、耳の中に羊水が残っていたり、耳垢があるなどして正しく反応が得られないこともありますので、要再検であった場合には1ヶ月健診で再度検査を実施します。そのため当院では、羊水の影響を受けにくい生後2日以降、退院までの間に検査を実施しています。

当院での検査費用は4800円になりますが、横浜市民の方は母子手帳の別冊に聴覚検査の補助券が入っていて、1500円の補助をしてくれるものになります。（横浜市内でも補助をしてくれる自治体もあります）補助券が使えるこの機会に是非受けてください。

## ◆赤ちゃんの体重減少

産まれて数日の新生児は体重が減るのをご存知ですか？だいたい生後3日をピークに減少し、その後少しずつ増えていきます。赤ちゃんの体重が減ると心配になりますし、実際「大丈夫ですか？」とよく質問されます。この現象を私たちは生理的体重減少と呼んでいます。



産まれたあと、うんちやおしっことして排泄されたり、汗や不感蒸泄（息や皮膚など、目に見えない蒸発によって水分が消失すること）で水分が抜けていく一方、まだミルクや母乳をたくさん飲むことができません。つまり、体から抜けていくものの方が多いために起こる現象です。ただし、減りすぎはよくありません。出生時の体重から10%以上は減少しないように管理していく必要がありますので、毎日の体重と母乳の分泌量、排泄回数、黄疸の値などいろいろな観点から、その時に適切な授乳方法をアドバイスさせていただきます。

体重減少のピークを過ぎたあとはおおよそ1週間ほどかけてゆっくり増加し、出生時の体重に戻っていきます。自然分娩でお産された方ほとんどは、出生時の体重に戻る前に退院することになります。退院後の授乳方法についてはきちんとアドバイスさせていただきます。退院後は2週間健診や母乳外来でフォローいたします。

## ◆今月の赤ちゃん①



8月26日産まれた女の子  
産まれる前日の妊婦健診の時の写真です。この時期になると大きくなってなかなかエコーで写しきれないことが多いですが、ほっぺのもちもち感までわかるくらいきれいに写っていますね。  
「明日産まれようかな」なんて考えていたのかな（笑）

## ◆今月の赤ちゃん②



酸素が必要で保育器に入っていたこの子は、左手に点滴、足に血中酸素濃度を測るモニターをつけています。  
この赤ちゃんらしからぬリラックス具合を見てください。保育器を開けても全く気付かず爆睡中。生後4日で保育器も卒業して、通常の入院期間で無事退院になりました。

## ◆お知らせ

以前、スマホで過去の産科だよりが閲覧できないという意見をいただきましたが、閲覧できるように改善していただきました。お時間がある時にぜひ過去の産科だよりもお読みください。



担当…郷原